



ことばの相談室

言葉についてちょっと気になることなど・・・

どんなことでも ご相談ください。



「ことばがはっきりしない」「どもる」「ことばがおそい」「発音がおかしい？」など言葉の悩みについて、遊びを通して指導が受けられる教室です。

言葉は自分の思いを伝える大切な手段です。特に、保育園やこども園に就園している幼児期は、友達と関わりながらたくさんの言葉を獲得していきます。

言葉で自分の思いを上手く伝えることができなかったり、発音につまずきがあったりする時は、出来るだけ早期に言葉の専門指導を受ける事がとても大切です。



—ことばの相談室について—

- ★ 実施日 火曜日（毎週）
- ★ 開設時間 13：00～17：00（予約制）
*但し個別に時間を決めて指導します。保護者同伴通園です。
- ★ 指導担当 言語指導員3名
*指導担当者については、ことばの様子に応じて、ひばり園の方で決定していきます。
- ★ 持ち物 上履き（お子さん、保護者の方用）
- ★ 申し込み 【ことばの相談室】に申し込みをされる場合は、下記まで連絡をしてください。

《申し込み先》 妙高市小出雲3-12-6
妙高市早期療育施設ひばり園
72-9418（TEL、FAX 兼）
教育委員会 こども教育課子育て支援係
74-0039



ことばの相談室 ちしきメモ

年齢	構音（発音）発達の遅れ
<p>3歳 (年少)</p>	<p>舌と耳の発達が未熟なので、まだ幼児音でもよい。 しかし、ことばが遅い、発音がおかしいなど気になることがあったら早めに相談へ。 【カ行】に問題があれば、年少の後半に相談へ。</p>
<p>4歳 (年中)</p>	<p>【ハ行】音の子音部省略 例 <u>ごは</u>ん→<u>ごあ</u>ん <u>ひ</u>こうき→<u>い</u>こうき ha a hi i 【サ行】に問題→年中の中頃 * サ行は4歳半～5歳で85%～90%ができる。</p>
<p>5歳 (年長)</p>	<p>【耳】の発達→大人と同じような音の聞き分けができる。 ↓ 自分で間違っている音が分かってくる。 ↓ 相談が遅れると発達以外の問題が出てくる。 (劣等感・しゃべらない・その音を避ける・反社会的態度) 舌先も上手に使えるようになるが、舌機能が未熟であると【ラ行】が【ヤ行】になってしまう。 例 カラダ→カヤダ 【ラ行】と【ダ行】の区別</p>

《 側音化構音 》

【イ】列音、【エ】列音（口角をひく音）の歪み→呼気が口腔の側方（両側）から出て音が歪む。

*この異常構音は、自然には治らない。改善するには、言語指導が望ましい。

